

基本施策評価表

上下水道ビジョン基本方向	Ⅱ	安定的な給水の確保
--------------	---	-----------

基本施策	8	持続可能な経営の推進
------	---	------------

基本施策目標

事務事業全般においてコスト縮減に努め、経営の安定化・健全化に向けた取り組みを継続的に進めます。

計画主要施策	計画主要施策の概要・取り組み目標	H25年度 実績(成果)	評価
1 継続的な経営改革	<p>〔概要〕 お客さまに満足いただけるサービスを提供するために、経営の安定化・健全化に向けた取り組みを継続的に進めます。</p> <p>〔取り組み〕 ア. 今後、水道施設の更新・改良の時期を迎えるため、各計画に基づく事業の内容を的確に判断し、経営を圧迫することのないよう事業費を精査します。また、アセットマネジメントの考え方も参考に、経済性、有効性、効率性に重点を置いた施設整備を推進します。 イ. 未利用地について、売却、貸付等の可能性を検討し、資産の有効活用に取り組みます。</p> <p>〔目標〕 ア. 推進 イ. 推進</p>	<p>収益では、平成25年10月から平均約5%減となる料金改定を行ったことにより、給水収益が前年度比1億8,174万円(2.7%)減少したものの、新会計基準の適用により収益合計で5億5,416万円(7.9%)増加した。また、費用においても、新会計基準により、みなし償却が廃止されたことなどで、減価償却費が増加したものの、費用全体で5,658万円(0.9%)減少した結果、収支差引額で1,175,194千円の純利益を計上することとなった。 また、水道事業アセットマネジメント導入のためのプロジェクトチームを平成25年6月に設置した。 アセットマネジメントの第一段階として、厚生労働省のアセットマネジメント実践手法に基づき検討を行い、管路・設備の現状の把握と今後の更新需要見通しを作成した。</p> <p>未利用地の有効活用について、旧北部長尾加圧ポンプ室跡地を、平成25年4月1日から民間事業者に賃借(駐車場として運営)し、有効活用を図った。</p>	A
純利益の推移	(参考:H21 8億216万円 H21 7億6,064万円 H23 5億9,758万円 H24 5億6,446万円) H25 11億7,519万円		
2 企業債残高の縮減	<p>〔概要〕 老朽化した水道施設の更新や耐震化に多額の費用が必要となりますが、企業債の元利償還金が過度の財政負担となり、後年度の経営を圧迫することがないように、企業債残高の縮減に努めます。</p> <p>〔取り組み〕 計画段階において、事業内容や事業費を十分精査するとともに、自己財源と起債充当率のバランスを配慮し、各年度の企業債発行額が元金償還額を上回らないことを基本に、企業債発行額の抑制に努めます。</p> <p>〔目標〕 固定負債構成比率(企業債等、固定負債の合計が、負債と資本の合計に占める割合)の縮減</p>	<p>琵琶湖総合開発にかかる割賦負担金について、4,362万円(税抜き)の繰上げ償還を実施した。</p> <p>企業債全体では、償還額約14億7,066万円に対し、新規発行を11億530万円とし、企業債残高の縮減に取り組んだ。</p>	A
企業債等残高の縮減	(参考:H21 ▲2億1,207万円 H22 ▲5億2,782万円 H23 ▲8億1,719万円 H24 ▲1億8,723万円) H25 ▲3億6,536万円		
建設改良費の推移	(参考:H21 26億5,564万円 H22 21億7,099万円 H23 22億2,215万円 H24 35億4,076万円) H25 25億4,492万円		

3	効率的な執行体制の確立	<p>〔概要〕 業務の再編と執行の効率化を進めるとともに、職員の適正配置に努め、効率的な執行体制の構築を図ります。</p> <p>〔取り組み〕 災害・事故等の危機事象に対し、迅速且つ的確に対応できる体制の確立等、セーフティーネットの確保にも取り組みながら、上下水道組織の再編等を進め、職員配置の適正化に努めます。</p> <p>〔目標〕 平成27年度 組織再編を実施</p>	<p>上下水道組織の再編に向けて、上下水道組織を統合している先行市に対して、状況調査を行い、調査結果の分析、検討を進めた。</p>	A
---	-------------	---	---	---

基本施策 総合評価	A
-----------	---

<p>評価結果の説明等</p> <p>「継続的な経営改革」について、平成25年度は11億7,519万円の純利益を計上し、引き続き黒字を継続した。事業面においては、上下水道ビジョン及び中期経営計画並びに施設整備基本計画に基づき適切な事業執行に努めた。</p> <p>「企業債残高の縮減」について、昨年度に引き続き、琵琶湖総合開発にかかる割賦負担金4,362万円(税抜き)の繰上げ償還を実施した。また、企業債発行の抑制に取り組んだことにより、企業債等残高の縮減が図れた。</p> <p>「効率的な執行体制の確立」について、上下水道局組織の再編に向けて分析、検討を進めた。</p> <p>以上、概ね目標を達成できたことから、評価をAとした。</p>

<p>今後の取り組みの方向性・展開方針</p> <p>「継続的な経営改革」について、今後も施設改良・送配水管更新事業等を進めるとともに、安定した企業経営の維持に努めていく。また、アセットマネジメントについて、施設・管路の更新需要を算定するためのデータの精度を上げるための、更新基準、更新規模(事業費)の見直し等に着手し、レベルアップを図る。</p> <p>「企業債残高の縮減」について、繰上げ償還の実施などにより、残高の縮減を図る。</p> <p>「効率的な執行体制の確立」について、再編後の組織体制を市長部局関係課と調整し、組織再編に向けた事務を進める。</p>
--

★参考(計画主要施策に関連する事務事業実績測定)

事務事業名	今後の方向性	所管部署	ID
1 上下水道経営課運営事務	現状のまま継続	上下水道経営課	30387
2 上下水道局経営改革事務	現状のまま継続	上下水道経営課	30388
3 上下水道局財政・会計事務	現状のまま継続	上下水道経営課	30389
4 水道管路等管理事務	現状のまま継続	給水管理課	30373